

国内外での 展示等 協力事業

国内における協力事業

- **「GIGA-MANGA 江戸戯画から近代漫画へ」**
江戸期の錦絵から戦中のマンガ雑誌までのIMRC/マンガミュージアム所蔵資料約400点を紹介する形で制作された「江戸からたどる大マンガ史展～鳥羽絵・ボンチ・漫画～」(於・京都国際マンガミュージアム、2015年11月14日～2016年2月7日、清水勲・監修)を元にした展覧会に、東北歴史博物館展、北九州市博物館展、すみだ北斎美術館展に引き続き、内容監修等で協力した。

期間 2021年10月1日[金]～12月19日[日]
会場 神戸ゆかりの美術館
主催 神戸ゆかりの美術館/神戸新聞社/毎日新聞社
後援 サンテレビジョン/ラジオ関西
協力 京都精華大学国際マンガ研究センター/京都国際マンガミュージアム

- **「ギガタウン展 ギガタウン・フロム・テラタウン」展**
マンガ独特の表現記号=「漫符」がテーマのこの史代によるマンガ作品「ギガタウン 漫符図譜」を紹介する企画展として、2018年に京都国際マンガミュージアムで開催され、その後、横山隆一記念まんが館にも巡回した展覧会。オリジナル展同様、展覧会は2部構成で、第1部では、同作でも紹介されている10の漫符を取り上げ、それらの歴史や古今東西の使用例を紹介するなど詳しく解説した。第2部では、ネームや下描きを含む「ギガタウン」の原画100点以上を一堂に集めた。

期間 2021年10月1日[金]～12月19日[日]
会場 湯前まんが美術館
主催 湯前まんが美術館
協力 朝日新聞出版/京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター

- **「男子におわす」展**
| 詳細は別掲

海外における協力事業

- **「SPORT×MANGA」展**
東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせて企画された、スイス・ローザンヌの「オリンピック・ミュージアム」における、日本のスポーツマンガを紹介する企画展。資料提供やIMRCメンバーによる監修などの形で協力した。同展のプレ展示と言える、「バナンニック東京」における同名展(2019年7月13日～9月29日)でも、展示画像の選定などを行った。

期間 2021年3月18日[木]～11月21日[日]
会場 オリンピック・ミュージアム[スイス・ローザンヌ]

文化庁 メディア芸術 連携基盤等 整備推進事業

基本情報

担当

吉村和真(「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」
および「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」
統括アドバイザー)/
伊藤遊(同統括アドバイザー支援)

実施概要 2010年度から始まった「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」以来、マンガ資料(刊本および原画)のアーカイブ——〈収集〉〈整理・保存〉〈活用〉——を
実践し、その発展のための体制を推進するネットワークの構築とハブとなる拠点の確立
を目的とする文化庁事業の中心的な役割を、IMRCが担い続けている。第3フェーズと言
える「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」の2年目の事業として、以下の2つの事
業が実施された。

事業一覧

● 「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と 所蔵館ネットワークに関する調査研究」

実施事業

- ・ 刊本センターの実装化に向けた調査研究
- ・ 所蔵館ネットワークの構築
- ・ 刊本プールの有意性に関する検討
- ・ 「マンガアーカイブ協会」の開催

連携機関・団体

- ・ 熊本大学(事業者)
- ・ 明治大学/米沢嘉博記念図書館
- ・ 京都精華大学/京都国際マンガミュージアム
- ・ 北九州市漫画ミュージアム
- ・ 高知まんがBASE
- ・ NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクト/合志市マンガミュージアム

● 「マンガ原画アーカイブセンターの実装と 所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」

実施事業

「横手市増田まんが美術館」内に設置されている
「マンガ原画アーカイブセンター(MGAC)」の実装と所蔵館連携に向け、
調査研究以下のような事業が計画され、実施された。

- ・ 相談窓口の開設
- ・ 専門人材の育成
- ・ 収益事業及び支援体制構築の調査
- ・ 「マンガアーカイブ協会」の開催
- ・ 「集英社マンガアートヘリテージ(SMAH)」との連携による原画保存に関する
共同研究の着手

連携機関・団体

- ・ 一般財団法人横手市増田まんが美術財団(事業主)
- ・ 横手市増田まんが美術館
- ・ 明治大学
- ・ 京都精華大学/京都国際マンガミュージアム
- ・ 北九州市漫画ミュージアム
- ・ 熊本大学
- ・ NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクト
- ・ 鳥取県北栄町
- ・ 石ノ森萬画館
- ・ 湯前まんが美術館

京都国際マンガミュージアム/IMRC所蔵資料 および画像データ提供一覧(2021年1月-12月)

提供一覧

資料名	データ/現物	提供先	用途
<ul style="list-style-type: none"> 『週刊マーガレット』1970年第10号(集英社、1970年)表紙 『週刊少年サンデー』創刊号(小学館、1959年)表紙 『週刊少年マガジン』創刊号(講談社、1959年)表紙 『週刊少年サンデー』1964年10月11日号(小学館、1964年)表紙 福井英一『イカグリくん天狗山の決戦』(秋田書店、1954年)表紙 	画像データ/ 現物	オリンピック・ミュージアム	「SPORT×MANGA」展 (於・オリンピック・ミュージアム、3/18～11/21) における展示
<ul style="list-style-type: none"> 樺島勝一画、織田小屋・作『正チャンの冒険』復刻版(小学館クリエイティブ、2003年)表紙 [作者不詳]『珍術甲賀流』(榎本法令館、[発行年不詳])表紙 中野晴夫「武蔵と小次郎」(榎本法令館、[発行年不詳])表紙 [作者不詳]『透明人間』(榎本書店、1949年)表紙 西岡英志『砂漠の宝』(榎本書店、[発行年不詳])表紙 	画像データ	Palette	Jean-Samuel Kriegk 『L'art du manga』(Platte, 2021年4月) での掲載
江戸期の戯画錦絵、明治期から戦中までのマンガ雑誌・単行本ほか335点	現物	神戸ゆかりの美術館	「GIGA・MANGA江戸戯画から 近代漫画へ」展 (於・すみだ北斎美術館、4/24-7/4) における展示および同展図録での掲載
『週刊漫画アクション』1971年1月24日増刊号(双葉社、1971年)	現物	小学館	同誌掲載「焼けっぱちのブルース」 (ダディ・グース)の『日本短編漫画傑作集』 第2巻(小学館、2021年6月)での掲載
歌川国芳「四代目中村歌右衛門、初代中村福助、 三代目関三十郎」	画像データ	笠原信男	笠原信男「明治維新と宮城の芸能」 (河北新報出版センター、2021年8月) での掲載
[作者不詳]『鋤鍬捨てて』『大阪パック』1917年7月1日号	画像データ	NHKエデュケーションナル	NHKEテレ「アクティブ10 レキデリ」 「普通選挙はなぜ実現した？」 (2021年9月9日放映)での紹介
<ul style="list-style-type: none"> 竹宮恵子「少年オーギュスト(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「薔薇の上に(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「KISS・接吻(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「青い夕暮れ(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「高貴なるもの(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 	現物	埼玉県立近代美術館	「男子におわす」展 (於・埼玉県立近代美術館、9/23-11/3) における展示および同展図録での掲載
倉金章介「あんみつ姫」(『少女』1950年5月号)ほか マンガ作品画像データ50点	画像データ	樹村房	こうの史代×竹宮恵子×吉村和真 『マンガノミカタ 創作者と研究者による 新たなアプローチ』(樹村房、2021年10月) での掲載
<ul style="list-style-type: none"> 竹宮恵子「少年オーギュスト(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「薔薇の上に(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「KISS・接吻(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「青い夕暮れ(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 竹宮恵子「高貴なるもの(「風と木の詩」より)原画」(ダッシュ) 	現物	島根県立石見美術館	「男子におわす」展 (於・島根県立石見美術館、11/27-22/1/24) における展示および同展図録での掲載
<ul style="list-style-type: none"> 小林清親「清親ぼんち 両国えこういん」1881年 小林清親「清親ボンチ 東京大芳町」1881年 小林清親「清親放痴 東京大川端新大橋」1881年 	画像データ	青人社	谷川渥・監修『戯画を楽しむ』 (玄光社、2021年12月)での掲載
仮名垣魯文、河鍋暁斎『絵新聞日本地』第1号(1874年) 表紙ほか	画像データ	川崎市市民ミュージアム	オンライン展示「漫画の元祖? 明治ボンチ本とはナニモノだ!」 (https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/comic2112/ 、12/23公開) での掲載
内山亜紀「あんどろトリオ」マンガ原画約800点	現物	稀見理都	内山亜紀「あんどろトリオ 完全復刻版」 (太田出版、2021年12月)での掲載

原画'(ダッシュ) プロジェクト

実施概要 「原画'(ダッシュ)」とは、コンピューターに原画を取り込んで色調整を重ねた上で印刷された、原画と並べても見分けのつかないほど精巧なマンガ原稿の複製である。退色しやすいデリケートなマンガ原稿の保存と公開を両立させるために開発され、マンガ家で京都精華大学元学長の竹宮恵子氏をプロジェクトリーダーに、京都精華大学国際マンガ研究センターと京都国際マンガミュージアムが共同で研究を進めている。●原画'(ダッシュ)プロジェクトでは、2001年以来、監修者・竹宮氏を含む作家27名の約850点の「原画」を制作してきた。●2021年度の新規原画'制作は新型コロナウイルス禍のため見送られたが、過去に制作した原画'の画像と情報を公開するIMRCのウェブページを大幅に更新した。

基本情報

担当
ユースギョン

国内における原画'(ダッシュ)の活用

- **「男子におわす」展**
江戸時代から現代まで、日本の視覚文化のなかの美少年・美青年のイメージ=「美人画」ならぬ「美男画」を紹介する展覧会。
浮世絵・日本画・彫刻・挿絵・マンガ・写真といった幅広いジャンルのメディアが展示され、竹宮恵子の原画'(ダッシュ)5点も、このプロジェクト自体の解説とともに、紹介された。
—
《埼玉県立近代美術館展》
期間 2021年9月23日[木]–11月3日[水]
会場 埼玉県立近代美術館
主催 埼玉県立近代美術館
—
《島根県立石見美術館展》
期間 2021年11月27日[土]–2022年1月24日[月]
会場 島根県立石見美術館
主催 島根県立石見美術館/しまね文化振興財団/中国新聞社/日本海テレビ

海外における原画'(ダッシュ)の活用 原画'(ダッシュ)は、破損や紛失したら取り返しがつかない原画に替わって、国内だけでなく、フランス、ドイツ、オーストラリアなど、海外の展覧会にも積極的に出品されてきたが、コロナ禍下の2021年に出展はなかった。

IMRCメンバー業績等

業績一覧

小泉真理子 Koizumi Mariko	<p><u>論説・コラムなど</u> ・ 著作「第4章 日本アニメの産業としての成長」大場吾郎・編『放送コンテンツの海外展開』中央経済社、2021年8月</p> <p>・ コラム「ウェルビーイングと文化政策」飯塚まり・編「同志社大学Well-being研究センター」小冊子、2021年4月</p> <hr/> <p><u>学会発表</u> ・ 国際会議 ‘Governmental Role for the Development of Japanese Animation,’ The 11th International Conference on Cultural Policy Research, Kyoto, Japan. (2021年3月、査読有り)</p> <p><u>講演など</u> ・ 講演「日本アニメの海外展開とグローバル配信プラットフォーム」[2021年度秋季(第45回)情報通信学会大会研究会報告 コンテンツビジネス研究会「日本のコンテンツとNetflix」](2021年11月27日、オンライン)</p> <p>・ 講演「日本アニメの海外展開 ～米国の現地調査を中心に～」[学校法人静岡雙葉学園静岡雙葉高等学校](2021年10月20日、於・静岡)</p> <hr/> <p><u>社会活動</u> ・ 総務省情報通信政策研究所 特別研究員</p> <p>・ 同志社大学Well-being研究センター 嘱託研究員</p> <p>・ 文化経済学会(日本)学会誌編集委員</p> <p>・ 情報通信学会学会誌編集委員</p>
伊藤遊(イトウユウ) Ito Yu	<p><u>論文</u> ・ 「学習マンガ制作現場のエスノグラフィー 葛藤を調整する「ドラマトゥルク」の必要性」(瀧下彩子/山中千恵との共著)『マンガ研究』vol.27、日本マンガ学会、2021年3月</p> <hr/> <p><u>論説・コラムなど</u> ・ 「少年マンガに多様性を読む」『中日新聞』夕刊2021年2月12日</p> <p>・ 「約束のネバーランド」展「読売新聞」夕刊2021年3月23日</p> <p>・ 「マンガ展素描2019「複製芸術」を「展示」すること」『マンガ研究』vol.27、日本マンガ学会、2021年3月</p> <p>・ 「この時代の『ギガタウン 漫符図譜』と『鳥獣人物戯画』」『ユリイカ』2021年4月号(「特集 鳥獣戯画の世界」、青土社、2021年4月)</p> <p>・ 「『医療マンガ展』の試み 京都国際マンガミュージアムの2つの展覧会」一般社団法人日本グラフィック・メディスン協会・編『日本の医療マンガ50年史 マンガの力で日本の医療をわかりやすくする』さいかす、2021年5月</p> <p>・ 「ウイルスや細菌はマンガの中でどのように表象されてきたか「学習マンガ」における(擬人化)」「同上」</p> <p>・ 「MONSTER」/「殺医ドクター蘭丸」/「アスクレピオス」/「ルシフェルの右手」/「屍活師 女王の法医学」/「バカレイドッグス」/「Dr.クインチ」/「ボクの彼女は発達障害」/「認知症のある人って、なぜ、よく怒られるんだろう?」「同上」</p> <p>・ 「25周年記念 るろうに剣心展」(全3回)『読売新聞』(京都版) 2021年6月1日/2日/3日</p> <p>・ 「夢幻紳士 新・怪奇篇」/「怪談少年」/「へび女ははじめました」/「マリッジ・ミーティング」/「師匠と弟子」『文藝別冊 総特集 高橋葉介 大增補新版』河出書房新社、2021年6月</p> <p>・ 「『グラフィックノベル』の世界」『子どもの本棚』2021年6月号(「特集 見て、感じて広がる世界」、日本子どもの本研究会、2021年6月)</p> <p>・ 「楠本まきはなぜ論じられてこなかったのか」楠本まき、Landschaft・編『線と言葉 楠本まきの仕事』Landschaft、2021年7月</p> <p>・ 『朝日新聞』(大阪本社版)夕刊「いまどきマンガ塾」(2021年3月) / 「マンガ/アニメ現在形」(2021年4月) (ユースギョン(IMRC)、倉持佳代子(京都国際マンガミュージアム)、吉村和真(マンガ学部)とのリレー連載(連載中))</p> <p>* https://book.asahi.com/writer/11001966</p> <p>・ 『朝日中高生新聞』「マンガこの人この2冊」(ユースギョン(IMRC)、雑賀忠宏(同)、倉持佳代子(京都国際マンガミュージアム)とのリレー連載(連載中))</p> <hr/> <p><u>学会発表など</u> ・ 研究発表「歴史科系学習マンガにおける「改訂」」(瀧下彩子/山中千恵との共同発表)「日本マンガ学会第20回大会」(オンライン、2021年7月4日)</p> <p>・ 研究発表「歴史科系学習マンガの制作過程」(瀧下彩子/山中千恵との共同発表)「中部人間学会第21回大会」(オンライン、2021年11月27日)</p> <p>・ シンポジウム発表「〈学習/マンガ〉の可能性」[古代アメリカ学会主催第3回公開シンポジウム「まなぶ、たのしむ南北アメリカの古代文明 研究成果から学びの場へ」(オンライン、2021年12月19日)]</p> <p>・ セミナー「ミュージアムセミナー 新しいメディア芸術とミュージアム マンガとミュージアム ～マンガと社会の関係から考える～」(於・四日市市立博物館、2021年7月17日)</p> <p>・ セミナー「JAPAN FOUNDATION NEW DELHI presents ONLINE CULTURE COURSE WINDOW into JAPAN MANGA CULTURE: from GIJINKA KYARA (Anthropomorph)」(オンライン、2021年9月24日)</p> <hr/> <p><u>展覧会制作</u> ・ キュレーション「ゲンガノミカタ マンガ原画を100倍楽しむ法」(於・高知まんがBASE、2021年7月17日(土)～8月31日(火))</p>

	<p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学研究費助成事業(基盤C) 「学習マンガ」の表現構造と制作現場における意味生成プロセスの実証的研究(研究代表者=山中千恵) 研究分担者 ・ 文化庁メディア芸術連携等基盤推進事業 「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」/ 「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」 コーディネーター支援者 ・ 文化庁メディア芸術祭選考委員
<p>住田哲郎 Sumida Tetsuro</p>	<p><u>論文報告等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査報告「マンガ専門科目における留学生の日本語理解度調査」(宿利由希子・小柴裕子との共著) 『専門日本語教育研究』22号、専門日本語教育学会、2020年12月 ・ 論文「日本マンガの翻訳不可能性に関する一考察」『国文論叢』58号、神戸大学文学部国語国文学会、2021年11月 <p><u>講演</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「マンガで学ぶ日本語」東洋大学国際教育センター・ゲストスピーカー講演会(オンライン、2021年12月14日)
<p>吉村和真 Yoshimura Kazuma</p>	<p><u>著作</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「マンガノミカタ 創作者と研究者による新たなアプローチ」 (この史代/竹宮恵子との共著)樹村房、2021年10月 <p><u>論説</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「「障害とマンガ」の多様な関係～作品・ジャンル・読者層～」 『新ノーマライゼーション 特集 漫画で伝える～多様性を認める社会』 2022年1月号、日本障害者リハビリテーション協会、2021年12月 <p><u>新聞寄稿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「追悼 さいとう・たかをさん 劇画の帝王 マンガ史に足跡」時事通信社配信 (「福井新聞」2021年10月7日ほか掲載) ・ 「朝日新聞」(大阪本社版)夕刊「いまだきマンガ塾」(←2021年3月) / 「マンガ/アニメ現在形」(2021年4月-) (伊藤遊(IMRC)/ユースギョン(IMRC)、倉持佳代子(京都国際マンガミュージアム)とのリレー連載) *https://book.asahi.com/writer/11001966 など <p><u>雑誌記事</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インタビュー/企画・構成「人権特集 私は… マンガから読み解くステレオタイプ」 『たかつきDAYS』(高槻市広報誌) 2021年3月号 ・ インタビュー「特集 ベストブック2021 マンガから読む未来」 『週刊東洋経済』2021年5月1-8合併特大号、東洋経済新報社 ・ 「歴史マンガマトリックス」図作成/インタビュー「特集2 大人の教養 いま、歴史マンガが面白い」 『VISA』2021年6月号、VJAグループ など <p><u>講演活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都、貝塚市、高槻市、松江市、横浜市、大東市など、複数の自治体や学校等で、現代社会や人権問題に与えるマンガの影響力などについて講演を実施。 <p><u>社会貢献</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業の各種委員ほか、高知県、横手市、鳥取県、北栄町、熊本県などの自治体で、マンガに関するアドバイザー等を務める。